

# ジェン(´▽´)とポヴ(^-^)の耳より情報 〈 ジェンダー平等編 〉

2013年1月31日 第8号  
経済基盤開発部 ジェンダー平等・貧困削減推進室

## トピックス

1. JICAのジェンダー主流化の取り組み：ジェンダー責任者会議
2. プロジェクト研究「効果的なナショナル・マシナリー支援アプローチ」始動
3. プロジェクト紹介：ナイジェリア国女性センター活性化支援

### 1. JICAのジェンダー主流化の取り組み：ジェンダー責任者会議

JICAでは、人事・企画担当理事をジェンダー総責任者、各部署長（在外事務所、国内機関含む。）をその部署におけるジェンダー主流化の推進・モニタリングを担うジェンダー責任者とし、また各部署には原則2名ずつのジェンダー担当者（男女一名ずつ）を配置して、組織内における男女共同参画、そして事業におけるジェンダー主流化を推進しています。

2012年11月28日、本部内の各部署においてジェンダー主流化の推進の責任を担っているジェンダー責任者が一同に会する「ジェンダー責任者会議」が開催されました。

会議では、ジェンダー主流化の総合調整を担っている企画部より「主流化推進体制の概要」、組織内における男女共同参画の推進を担う人事部より「組織ジェンダー、ワークライフバランス、次世代育成への取り組み」、そして事業におけるジェンダー主流化の推進に取り組む経済基盤開発部ジェンダー平等・貧困削減推進室より「事業ジェンダー主流化に向けた制度概要、他国際機関との取り組み状況の比較、国際的な動向」について説明が行われました。

また今回は、事業ジェンダーの主流化を積極的に進めているアジア開発銀行（ADB）より、田中そのみ氏（Lead Social Development Specialist）を外務講師として招き、ADBにおける取り組みを紹介いただきました。

## 2. プロジェクト研究「効果的なナショナル・マシナリー支援アプローチ」始動

現在多くの国において、「女性省」や「女性課題省」といった、女性の地位向上に向けた中核的な政府機構であるナショナル・マシナリーが存在します。ナショナル・マシナリーは、ジェンダー平等と女性のエンパワーメントに係る取り組みを推進するための政策策定や調整などの役割を期待されていますが、一般に脆弱で、十分な成果をあげるに至っていないケースが多いと指摘されています。

JICAはこれまでに、アフガニスタン、インドネシア、カンボジア、ネパール、ナイジェリア等において、人材育成を含めたナショナル・マシナリーの機能強化や、ジェンダー政策・制度づくり等の協力を通して、ナショナル・マシナリーを支援する取り組みを行ってきました。

こうした協力は、草の根レベルでの女性の生活向上など、一定の成果を出していることが確認されている一方で、当該国のジェンダー平等と女性のエンパワーメントにどのように貢献してきたのかという包括的な視点での評価は実施されていません。

そこで今年度、ジェンダー平等・貧困削減推進室では、これまでのJICA及び他の国際協力機関によるナショナル・マシナリー支援を包括的にレビューするとともに、個別の事例分析を通じた効果的な支援アプローチや手法の検証を行うため、プロジェクト研究「効果的なナショナル・マシナリー支援アプローチ」を開始しました。カンボジア及びネパールでの現地調査も実施予定で、2013年秋を目処に報告書を完成させる予定です。

さらに詳しく知りたい方は、担当の後藤 (Goto.Naho@jica.go.jp) 、合田 (Goda.Kayo@jica.go.jp) まで。

## 3. プロジェクト紹介：ナイジェリア国女性センター活性化支援

ナイジェリアでは成人識字率や推定所得、国会議員に占める女性の割合などにおけるジェンダー格差が顕著です。このような状況に対して、ナイジェリア政府は、連邦女性省の設立、国家ジェンダー政策の策定などジェンダー平等推進のための基本的な政策・制度的枠組みを整備してきました。また1980年代後半からは、主に村落部の女性対象の識字・職業訓練の場として、女性開発センター (Women Development Centre : WDC) を全国に700カ所以上設置してきました。

しかしながら、多くのWDCで十分なサービスを提供できていないことから、JICAは、WDCが貧困層女性の生活向上に貢献する「学びとエンパワーメントの

場」として活用されるよう、北部のカノ州で2007年から3年間、「女性の生活向上のための女性センター活性化支援プロジェクト」を実施してきました。プロジェクトでは、WDCで提供される識字、裁縫、料理、染色、石鹸作りなどのコースの質の向上を目指しました。スキルを身につけた女性は、経済的な利益を得られるようになったほか、行動範囲の拡大により社会性が向上し、女性が自身の発言や決断に自信を持つようになるなどといったエンパワーメントが見られました。

2011年2月から4年の期間で開始したフェーズ2では、カノ州で行ったWDCの活性化事業の成果を受けて、国立女性開発センター（NCWD; National Center of Women Development）を通じ、「WDC活性化モデル」を他州にも拡大し、普及・定着させるための支援を行っています。

協力開始から約2年が経過した2012年11月、プロジェクトの進捗状況の確認、昨今の治安状況等を踏まえたプロジェクトの方向性の検討を目的に、中間レビュー調査を実施しました。

現地調査では対象州の1つであるナイジェリア州の2つの女性センターを訪問しましたが、短期間で関係者のモチベーションが大幅に向上しており、供与された機材や研修を有効活用しつつ、活性化に向けた動きが加速化されている様子が観察されました。例えば、“女性センターにおけるコースや機材の充実に伴ってセンターを利用する女性の数も半年で30%程度増加”、“州政府の関係者がWDCの存在や活動に対して関心を払うようになり、独自に施設の改修・増築等を実施”、“地域の男性を含む関係者のWDC活性化に向けたモチベーションの向上”などの成果がみられています。

プロジェクト後半では、NCWD、州政府、そして地方自治体の行政能力向上を通じ、WDC活性化に向けた取り組みを強化していく予定です。また、WDC活性化に向けた活動を通じて得られた様々なグッドプラクティスを取りまとめた上で、現場の人々がWDC活性化モデルを普及・定着させていくためのマニュアル・ハンドブック等を作成していく予定としています。

ナイジェリア「女性の生活向上のための女性センター活性化支援プロジェクトフェーズ2」、ホームページ

<http://www.jica.go.jp/project/nigeria/003/index.html>

ODA見える化サイト

<http://www.jica.go.jp/oda/project/0900996/index.html>

さらに詳しく知りたい方は、担当の岩瀬(lwase.Makoto@jica.go.jp)まで。

## 注目！ジェンダー関連プロジェクトニュース

ベトナム「人身取引対策ホットラインにかかる体制整備プロジェクト」

☆最新ニュース1月21日更新！☆

<http://www.jica.go.jp/project/vietnam/020/index.html>

カンボジア「ジェンダー主流化プロジェクトフェーズ2」

☆最新ニュース12月21日更新！☆

<http://www.jica.go.jp/project/cambodia/011/index.html>

タイ「人身取引被害者保護・自立支援促進プロジェクト」

☆最新ニュース1月4日更新！☆

<http://www.jica.go.jp/project/thailand/0800136/index.html>

ナイジェリア「女性の生活向上のための女性センター活性化支援プロジェクトフェーズ2」

☆最新ニュース1月9日更新！☆

<http://www.jica.go.jp/project/nigeria/003/index.html>

ニカラグア「家族とコミュニティのための社会リスク予防・ケア統合行政サービス能力強化プロジェクト」

☆最新ニュース12月21日更新！☆

<http://www.jica.go.jp/project/nicaragua/004/index.html>

ネパール「ジェンダー主流化及び社会的包摂促進プロジェクト」

☆最新ニュース11月30日更新！☆

<http://www.jica.go.jp/project/nepal/0800392/index.html>

---

※本MLの配信停止を希望の方は、お手数ですが、ジェンダー平等・貧困削減推進室

支援ユニット：[kadaishien-keizai@jica.go.jp](mailto:kadaishien-keizai@jica.go.jp)までお知らせください。

※表示の不具合がありましたら、お手数ですが、ジェンダー平等・貧困削減推進室

支援ユニット：[kadaishien-keizai@jica.go.jp](mailto:kadaishien-keizai@jica.go.jp)までお知らせください。

---